

【エイテック 「働き方“開拓”」を推進 リモートワーク、健康経営など】

「働き方“開拓”」を推進

リモートワーク、健康経営など
エイテック

A C Kグループの事業会社であるエイテックは、10月から「働き方“開拓”」の取り組みをスタートする。

同社は、会社と社員が協働し、より良い働き方を開拓・探求するという思いから、働き方改革ではなく、「働き方“開拓”」と呼んでいる。労働時間の短縮はもちろん、「多様な社員が効率的に働き、かつチーム（組織）としてワーク（働く）する職場づくり」を目的としている。そして、働き方が多様化すれば多様な価値観を持つ仲間が増え、その一人ひとりがフラットに議論することでイノベーションが生まれ、社会に新たな価値を提供できる、というありたい姿を目指している。

具体的には、時間と場所を自由に選択できる「リモートワークの試行」や、社員が自由な服装でリラックスした環境で

働くことにより、上下間のコミュニケーションの壁を取り払うことを目的とした「服装の自由化」、社員の運動・睡眠・食事面での不健康状態が生産性に及ぼす悪影響（プレゼンティーズム）を損失額として数値化し、その解決のための健康増進にアプローチする「健康経営の推進（ディー・エヌ・エーでC H O室を起ち上げた平井孝幸氏によ

る支援）」などを進める。今後は、定期的に効果検証を行い、本格導入を目指すことを予定している。